



Summer Academia

— 東洋大学×附属3校合同の高大連携事業 —

2025年8月18日(月)・19日(火)
高校2年生(希望者)

例年夏休み期間中に実施している高大連携事業のひとつで、東洋大学京北中学高等学校、東洋大学附属姫路中学校・高等学校と本校の附属3校の高校2年生が参加する大学体験プログラムです。生徒たちは東洋大学の4つのキャンパスで講座を受講します。今年度は12学部18学科で実施され、大学の教授から直接手ほどきを受けました。このプログラムで他校の附属生と仲良くなり、連絡を取り合っている生徒も多くいます。附属3校の生徒同士が交流できる貴重な機会ともなっています。本校からは112名が参加しました。

01 白山キャンパス(東京都文京区)

白山キャンパスには文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、国際学部、国際観光学部の7学部があります。生徒たちは事前課題に取り組んだうえで当日のプログラムを迎えます。経済学部ではZ世代のマーケティングの謎に挑みました。我々の生活や社会には「なぜ」があふれています。さまざまな視点の問いかけに生徒たちは五感を使って考えていました。



▲法学部

▼国際学部



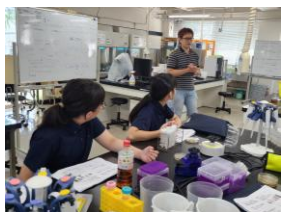
▲経済学部

▼社会学部

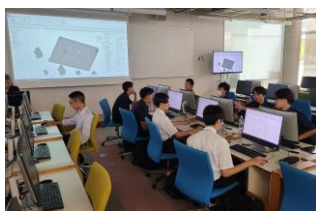


02 川越キャンパス(埼玉県川越市)

理工学部は応用化学科と建築学科の2コースでプログラムに参加しました。応用化学科では酵母菌を発酵させる実験を行いました。事前課題で酵母の働きについてレポートを書いていたのでスムーズに講座に参加できていたようです。建築学科ではCADやBIM(Building Information Modeling)を使って建築物の設計を体験しました。



▲応用化学科



▲建築学科

環境イノベーション学部(2027年4月開設予定・設置構想中)では「地球温暖化問題をデータサイエンスで考える」をテーマに年代ごとのデータ分析に取り組みました。事前に地球温暖化のメカニズムや再生可能エネルギーについて調べてはいたものの、「正解のない問い」に戸惑っている生徒もいたようでした。二酸化炭素の排出量を減らすにはどうしたらよいかなど、チームで協力して考えました。

03 朝霞キャンパス(埼玉県朝霞市)



▲食環境科学部

朝霞キャンパスには生命科学部、食環境科学部があります。2024年4月から「いのちと食」に関する総合的な教育研究拠点として、生まれ変わりました。緑豊かなキャンパスでした。

生命科学部では脊椎動物や植物、生体反応などまさに生命にかかわる講義を受けることができました。食環境科学部ではタンパク質の働き、栄養管理などについて学びました。初めて触れる機器もあり、仲間同士で協力しながら実験を進めていました。

04 赤羽台キャンパス(東京都北区)

情報連携学部のある赤羽台キャンパスはロッカーの施錠や解錠もプログラミングで、天井はむき出しで...という最先端キャンパスを堪能しました。学生への連絡も講義もすべてペーパーレスとのこと。講座ではプログラミング言語Pythonや生成AIの使い方を学ぶことができました。



▲情報連携学部

生徒の声

今回のサマーアカデミアを通して、プログラミングの基本的な知識から応用的な内容に至るまで、非常に幅広く学ぶことができた。これまで理解しきれなかった部分も、丁寧な講義や実践的な課題を通して理解が深まり、大きな成長を実感できた。特に印象に残っているのは、他者と協力して取り組むグループワークの経験である。話し合いを進める中で、自分の意見を的確に伝えることの難しさや、他者の考えを尊重することの大切さを改めて実感することができた。異なる背景や考え方を持つ人たちと関わることで、これまで自分になかった新たな視点やアイデアに触れることができ、自分の視野が大きく広がったと感じている。また、短い期間ではあったが、一緒に助け合いながら学んだ仲間たちとのつながりは非常に貴重であり、今後も大切にしていきたいと思う。このサマーアカデミアで得られた経験を糧に、今後も継続的にプログラミングに関する知識と技術を深めていくとともに、対話力や協調性といったスキルもさらに磨いていきたいと強く感じた。

(「Summer Academia 報告書」より)

情報連携学部 中根 航紀(つくば市立谷田部中学校出身)